

2025 年度

福山市 沼隈 町 地内

小坂頭首工改良工事(7-1) 実施設計書

工 事 概 要	項 目	当 初	
	適用単価区分 地域補正区分 工事概要	2025.07.01 その他土木工事(1) 地方部影響なし 工事延長 L=12.9 m ブロック積工 L=7.1 m (A=28 m2) すりつけ工 L=5.3 m (A=15 m2) 仮設工 一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、小坂頭首工改良工事（7-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 材料

第1節 大型土のう

- ・次のいずれかの要件に該当する場合は、袋体が破損する恐れがあるので「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル第2回改訂版（令和5年5月）で要求される性能（19項目）を全て満たした製品を使用すること。
- (1) 要領1m³当たりの中詰材重量が10kNを超える場合（20kN未満）
- (2) 2か月を超えて屋外へ使用する場合（3年未満）

第2節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 濁水・湧水処理

- ・濁水処理（沈砂池）を施工することを見込んでいる。

第3節 熱中症対策

・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。

3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。

4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。

5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。

6 積算方法は次のとおりとする。

（1）補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

（2）補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。

7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。

8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第4節 指定仮設

・内容：工事用道路工、水替工、汚濁防止工、土留・仮締切工

・理由：河川法第24条26条の許可を受けているため上記工種は指定仮設とし、設計図書に定める方法により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第5節 建設副産物について

（1）工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）

・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）

・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの

・各処分場の現地確認写真

・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

（2）工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第6節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第7節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
 - ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
 - ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
 - ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
 - ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
-
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 74 福山市(沼隈) 00-07.07.01(0)		
諸経費体系	9 公共(011015～)		
	当世代		前世代
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 I C T補正区分	14 その他土木工事（1） 01 千円未満切捨 00 補正なし 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
河川工事										レベル 1	
		1			式						
土工										レベル 2	
		1			式						
掘削工										レベル 3	
		1			式						
土砂掘削										レベル 4	
					m3						
掘削 土砂 片切掘削										00	
		14			m3					単第 0 -0001号表	
整形仕上げ工										レベル 3	
		1			式						
法面整形（掘削部）										レベル 4	
					m2						
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土										00	
		32			m2					単第 0 -0002号表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
作業残土処理工						レベル 3
	1		式			
作業残土処理			m3			レベル 4
ダンプトラック運搬（標準以外） 4 t 積級ダンプ 運搬距離6 km 土砂 D I D 区間なし	33		m3			00
作業残土処理			m3			単第 0 -0003号表 レベル 4
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる						
建設発生残土処分費 粘性土	33		m3			00
構造物撤去工	1		式			レベル 2
構造物取壊し工	1		式			レベル 3
舗装版切断			m			レベル 4

本工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下		9.8	m						00	
舗装版取壊し			m ²						単第 0 -0005号表 レベル 4	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下		9.6	m ²						00	
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工		31	m ³						単第 0 -0006号表	
殻運搬			m ³						00	
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)		0.5	m ³						単第 0 -0007号表 レベル 4	
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		31	m ³						00	
殻運搬・処理			m ³						単第 0 -0008号表	
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる									00	
									単第 0 -0009号表 レベル 4	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
建設発生副産物受入費 As殻									00	
	1.2		t							
建設発生副産物受入費 Co殻									00	
	72		t							
法覆護岸工									レベル 2	
	1		式							
作業土工									レベル 3	
	1		式							
床堀									レベル 4	
			m3							
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留方式無し 障害無し									00	
	47		m3						単第 0 -0010号表	
埋戻									レベル 4	
			m3							
埋戻 土砂 平均施工幅1m以上2m未満									00	
	28		m3						単第 0 -0011号表	
コンクリートブロック工									レベル 3	
	1		式							

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
コンクリートブロック積み				m2					レベル4	
コンクリートブロック積工(練積) 粗面ブロック 18-8-40BB	28			m2					00	単第 0 -0012号表
裏込材				m3					レベル4	
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	18			m3					00	単第 0 -0013号表
コンクリートブロック基礎				m					レベル4	
コンクリートブロック基礎	7			m					00	単第 0 -0014号表
小口止コンクリート				m3					レベル4	
現場打小口止コンクリート 18-8-40BB 一般養生	3.6			m3					00	単第 0 -0016号表
すりつけ工	1			式					レベル2	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
コンクリートブロック工										レベル 3	
		1			式						
コンクリートブロック積み					m2					レベル 4	
コンクリートブロック積工(練積) 粗面ブロック 18-8-40BB										00	
		15			m2					単第 0 -0017号表	
仮設工										レベル 2	
		1			式						
工事用道路工										レベル 3	
		1			式						
工事用道路盛土										レベル 4	
					m3						
購入土										00	
		120			m3					単第 0 -0018号表	
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し										00	
		110			m3					単第 0 -0020号表	
砂利舗装工 敷均し幅2.5m以上 バックホウ敷均し 敷均し										00	
		39			m2					単第 0 -0021号表	

本工事費

内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう製作・設置(BH設置)						00
	21		袋			単第 0 -0024号表
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 A,B,C(支柱間隔2m)	9		m			単第 0 -0026号表
土留・仮締切工						レベル 3
	1		式			
土のう			m2			レベル 4
大型土のう製作・設置(BH設置)						00
	22		袋			単第 0 -0024号表
水替工						レベル 3
	1		式			
(開削水替)						レベル 4
			日			
ポンプ運転						00
	5		日			単第 0 -0027号表
水替工(小口径)ポンプ設置・撤去工						00
	1		箇所			単第 0 -0029号表

本工事費

内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
高密度ポリエチレン管機械布設 呼び径 1 0 0 0mm						00
汚濁防止工	30		m			単第 0 -0030号表 レベル 3
土のう	1		式			レベル 4
大型土のう製作・設置(BH設置)			m2			00
直接工事費	13		袋			単第 0 -0024号表
共通仮設費率 分額						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						

本工事費

内訳表

頁0 -0010

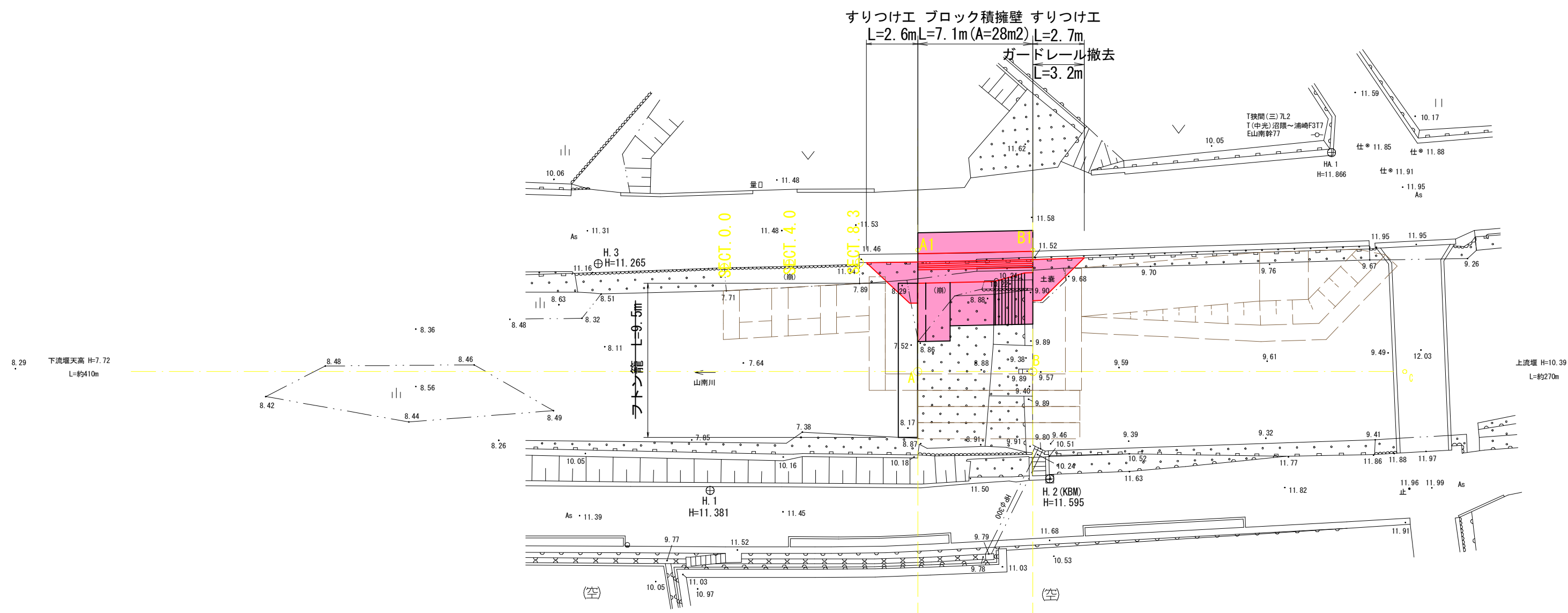
費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
＊＊工事価格計＊＊						
＊＊消費税相当額計＊＊						
＊＊請負工事費計＊＊						



図面番号	1 / 4	縮 尺	S=1:10,000	
工 種	小坂頭首工改良工事			
種 別	位置図		番 号	
路 線 名	小坂頭首工			
委託箇所	福山市沼隈町地内			
福 山 市				

平面図

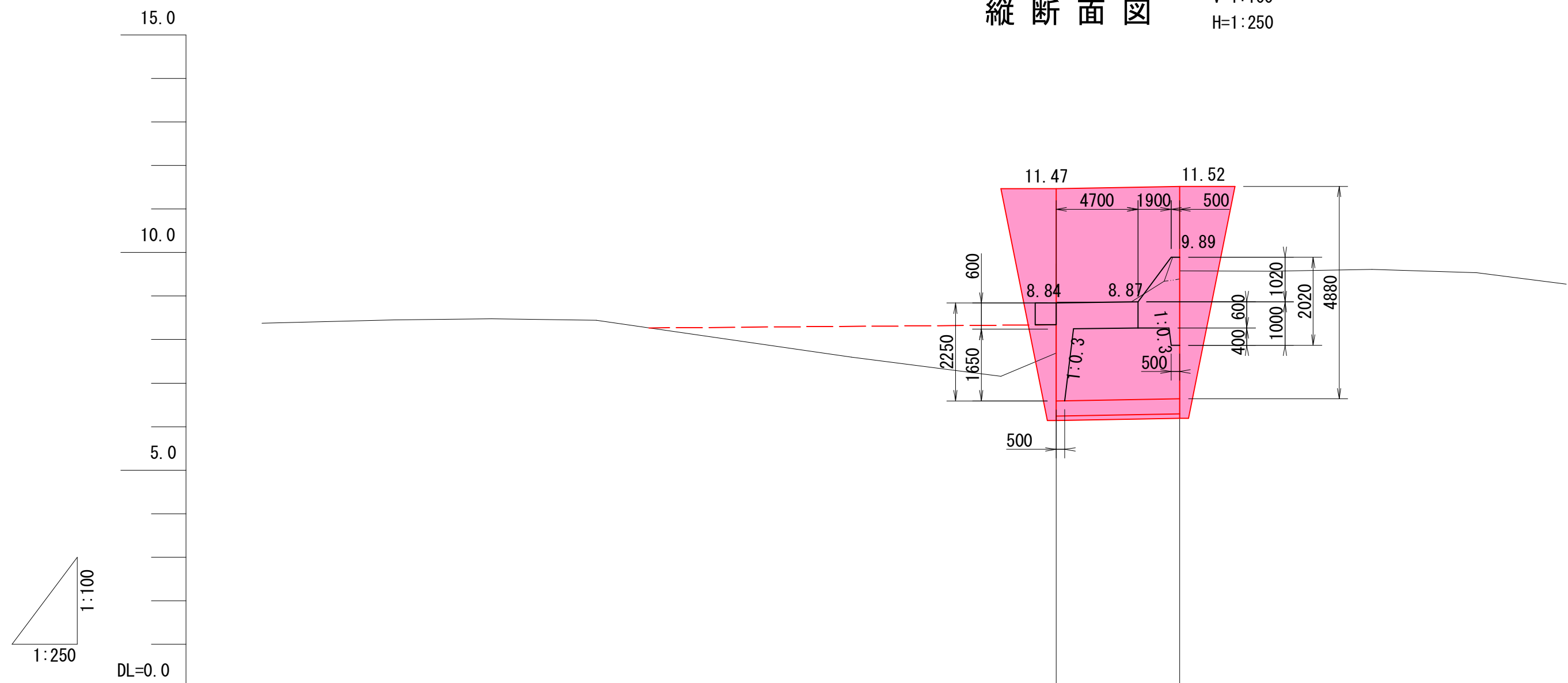
S=1:250



縦断面図

V=1:100

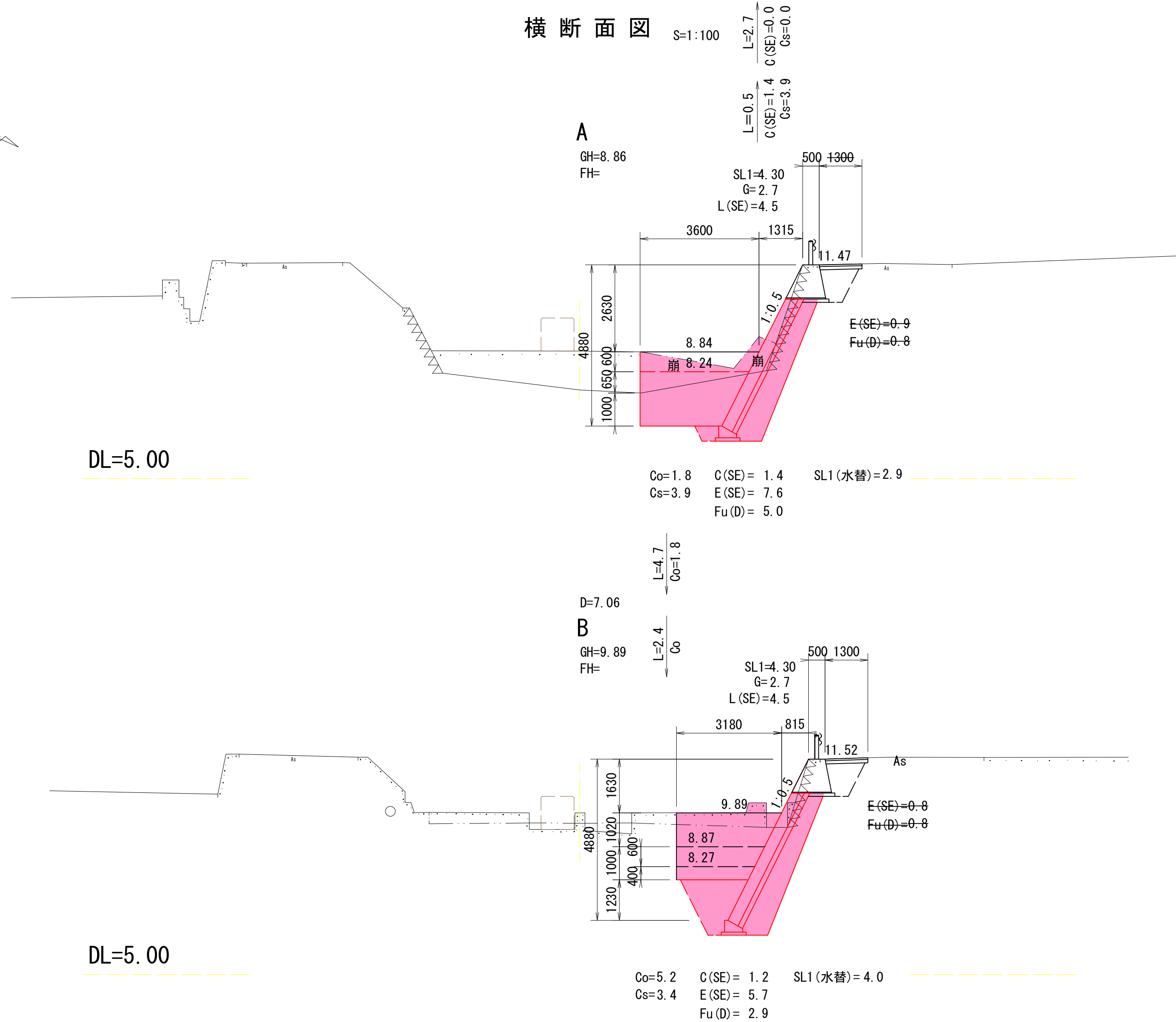
H=1:250



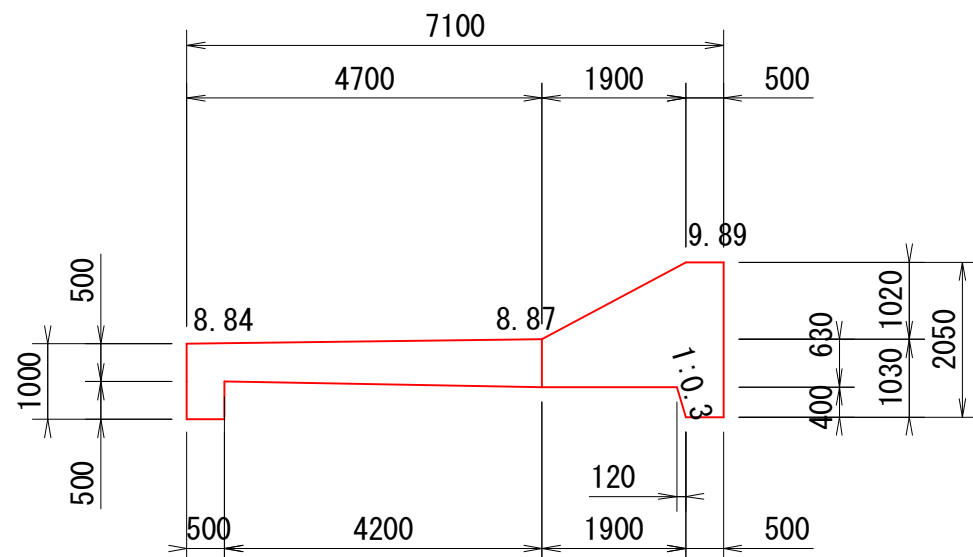
勾配	$i=1/324$ $L=65.0m$		
盛切高			
計画標高	8.84	8.87	9.89
地盤標高	8.86	9.89	
追加距離	0.00	7.10	
点間距離	0.00	7.10	
測点	A	B	

横断面図

S=1:100



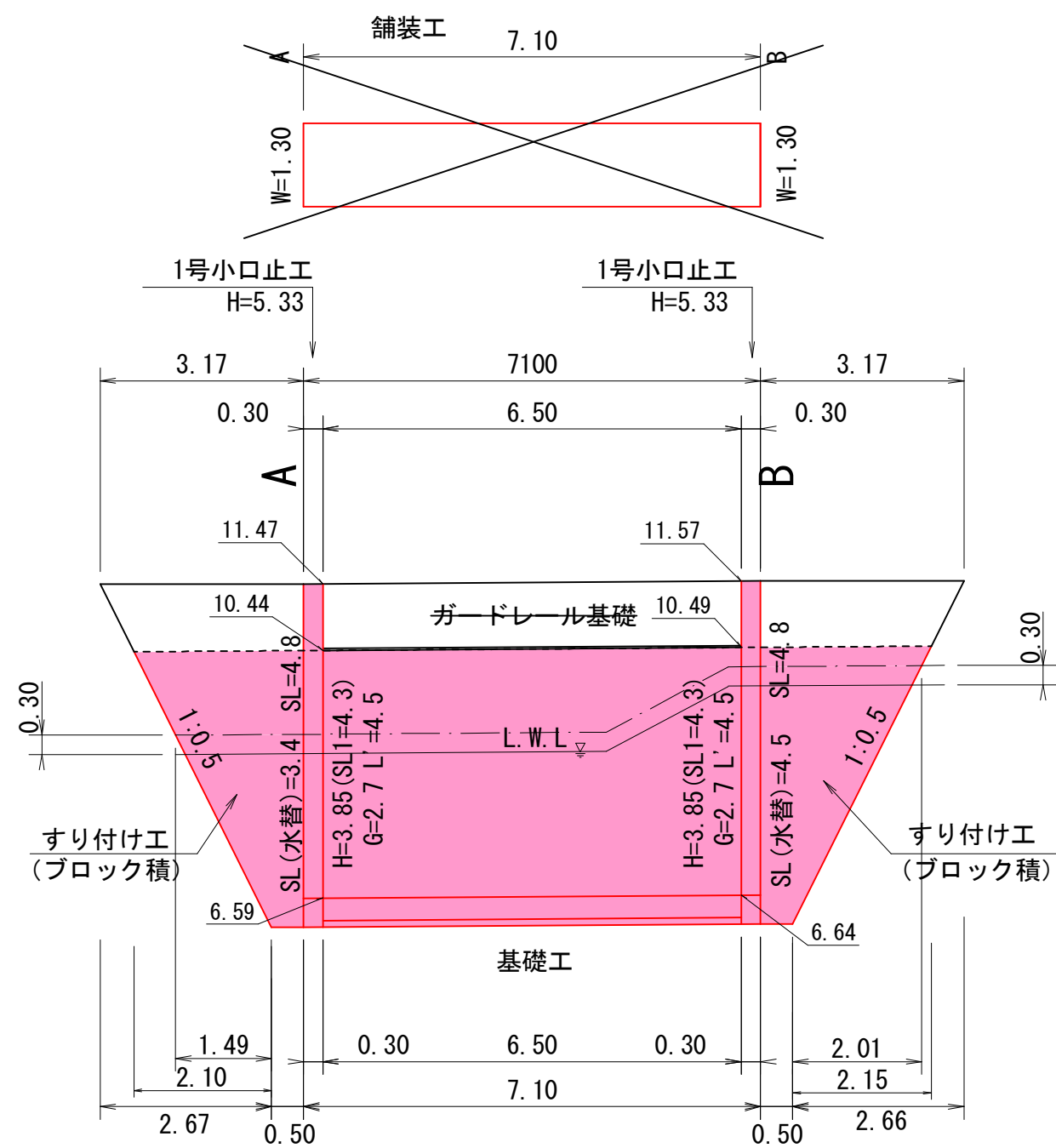
既設頭首工断面



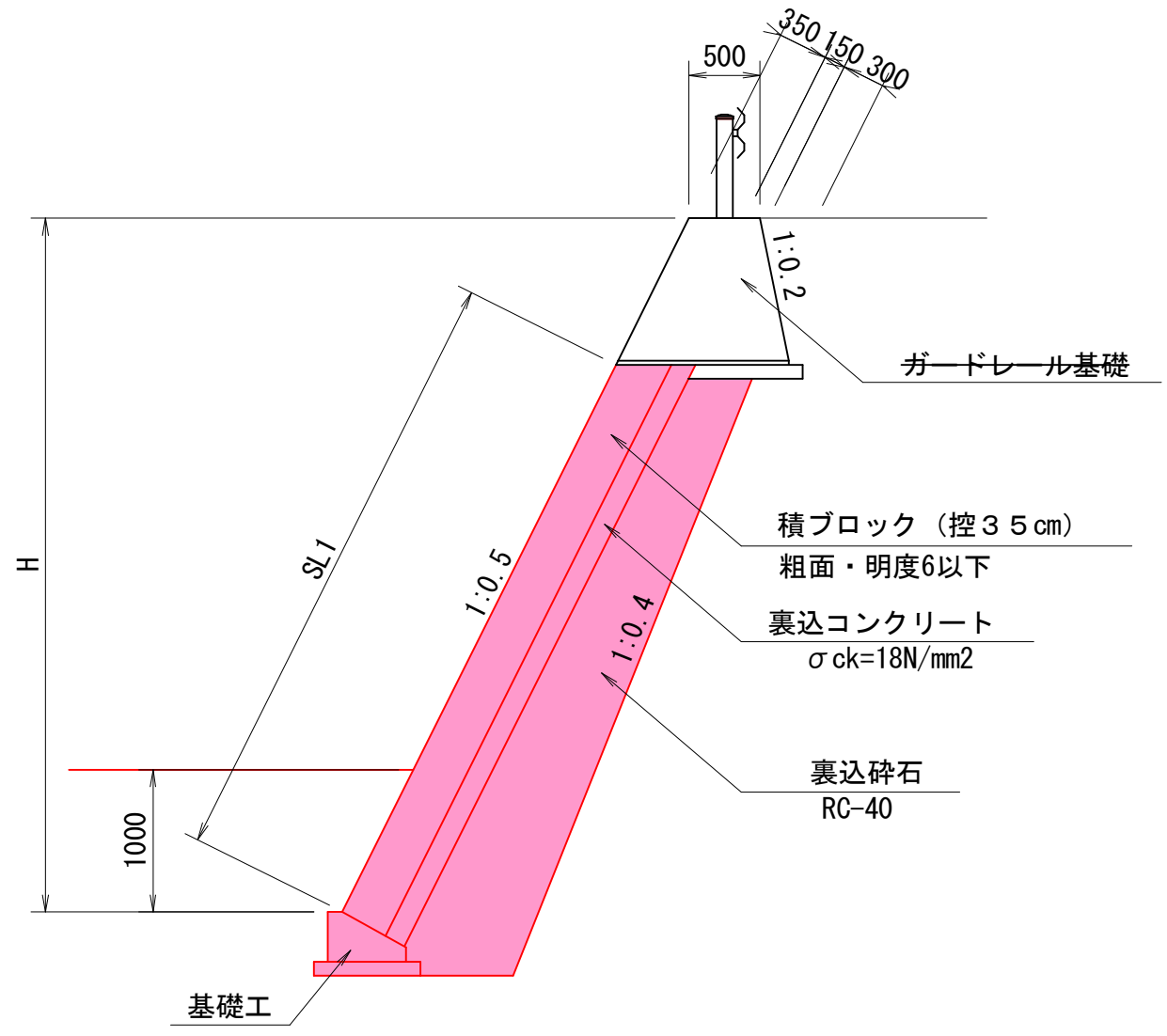
凡 例	
記 号	種 別
C (SE)	掘削 (土砂)
E (SE)	床掘 (土砂)
Fu (D)	埋戻 (土砂)
SL	ブロック法長
G	裏込碎石
L (SE)	切土法面整形 (ブロック背面)
Co	コンクリート取壊
Cs	ブロック取壊

工事名	小坂頭首工改良工事 (7-1)		
図面名	平面図・縦断面図・横断面図		
年月日			
尺度	図 示	図面番号	2/4
会社名			
事務所名	福山市 沼隈建設産業課		

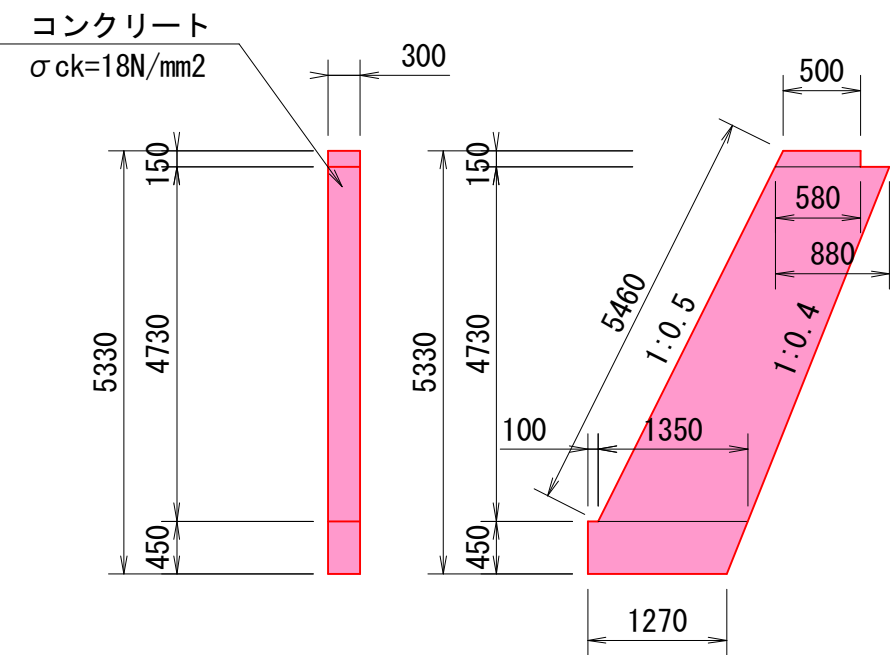
展開図 S=1:100



コンクリートブロック積 S=1:50



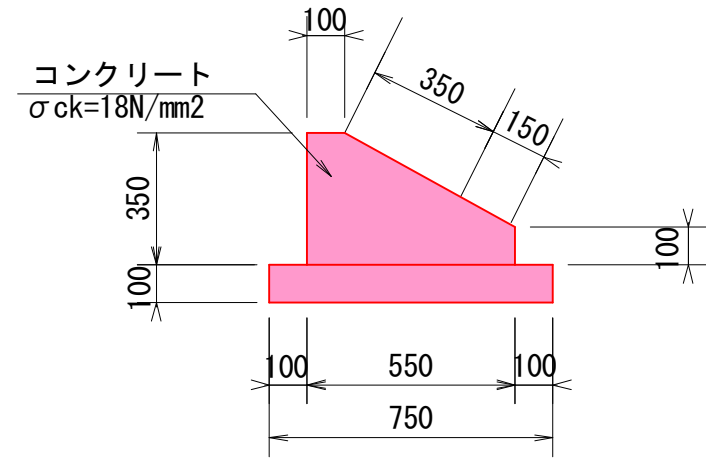
小口止工 S=1:100



数量表 1箇所当り

コンクリート	型枠	基面整正
1.790m3	7.785m2	0.4m2

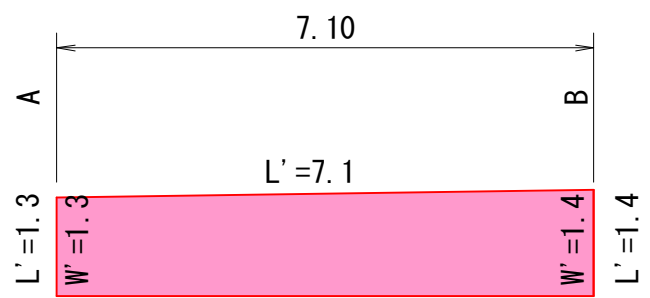
基礎工 S=1:20



数量表 10m当り

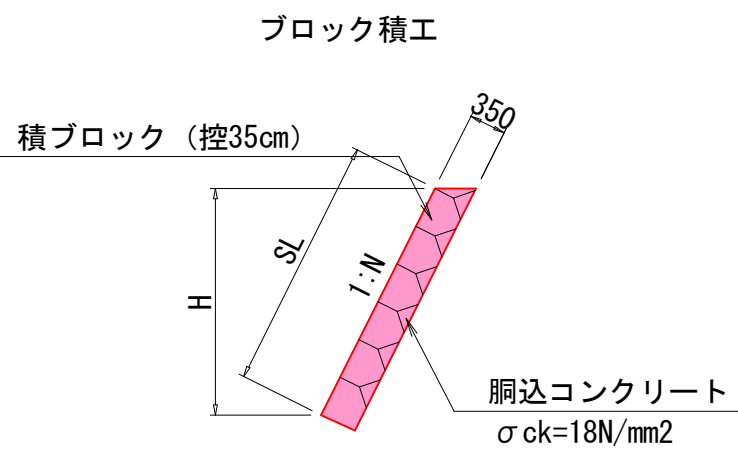
種別	細別	単位	数量	摘要
コンクリート	18N/mm2	m3	1.36	
型枠	小型構造物	m2	4.50	
基礎碎石	RC-40 t=100	m2	7.50	

As舗装取壊し展開図 S=1:100



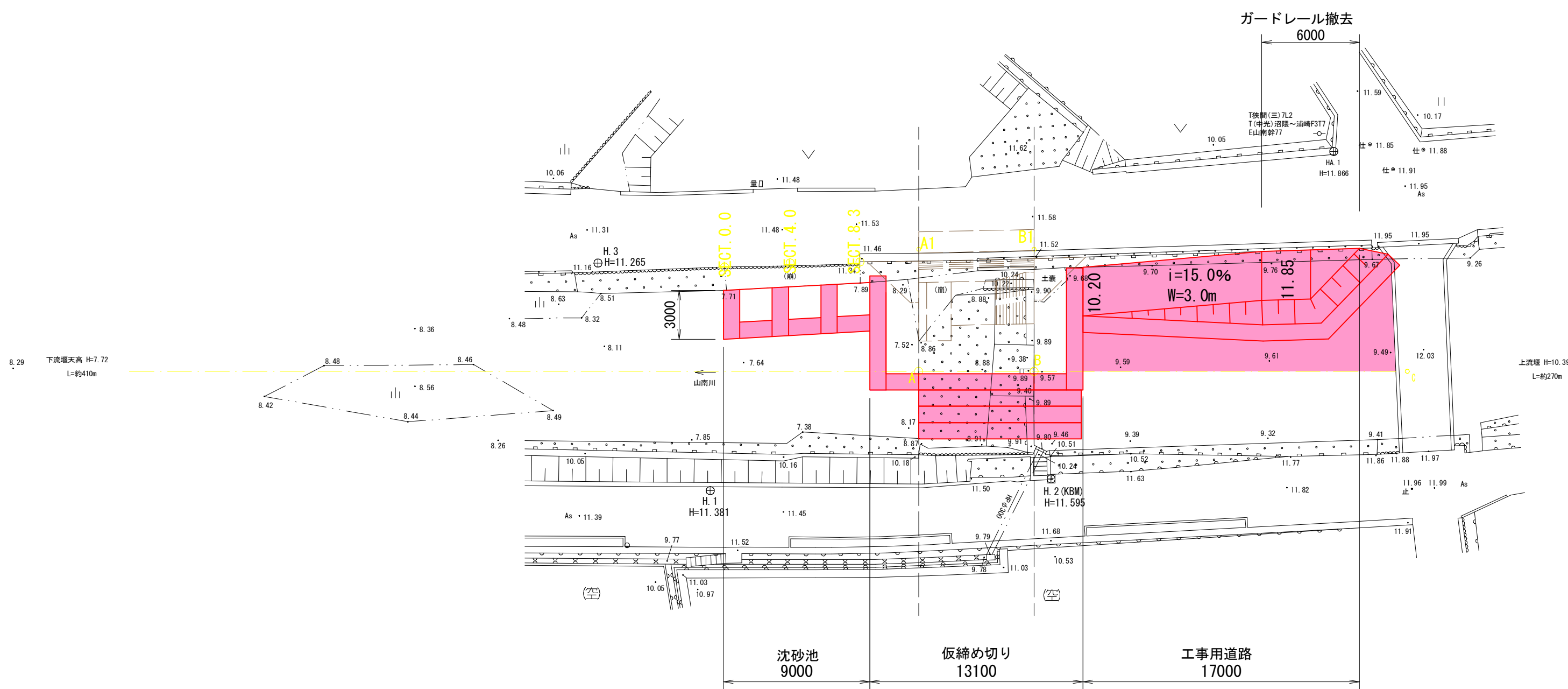
W':As舗装取壊し幅
L':As舗装切斷幅

すりつけ工 S=1:100

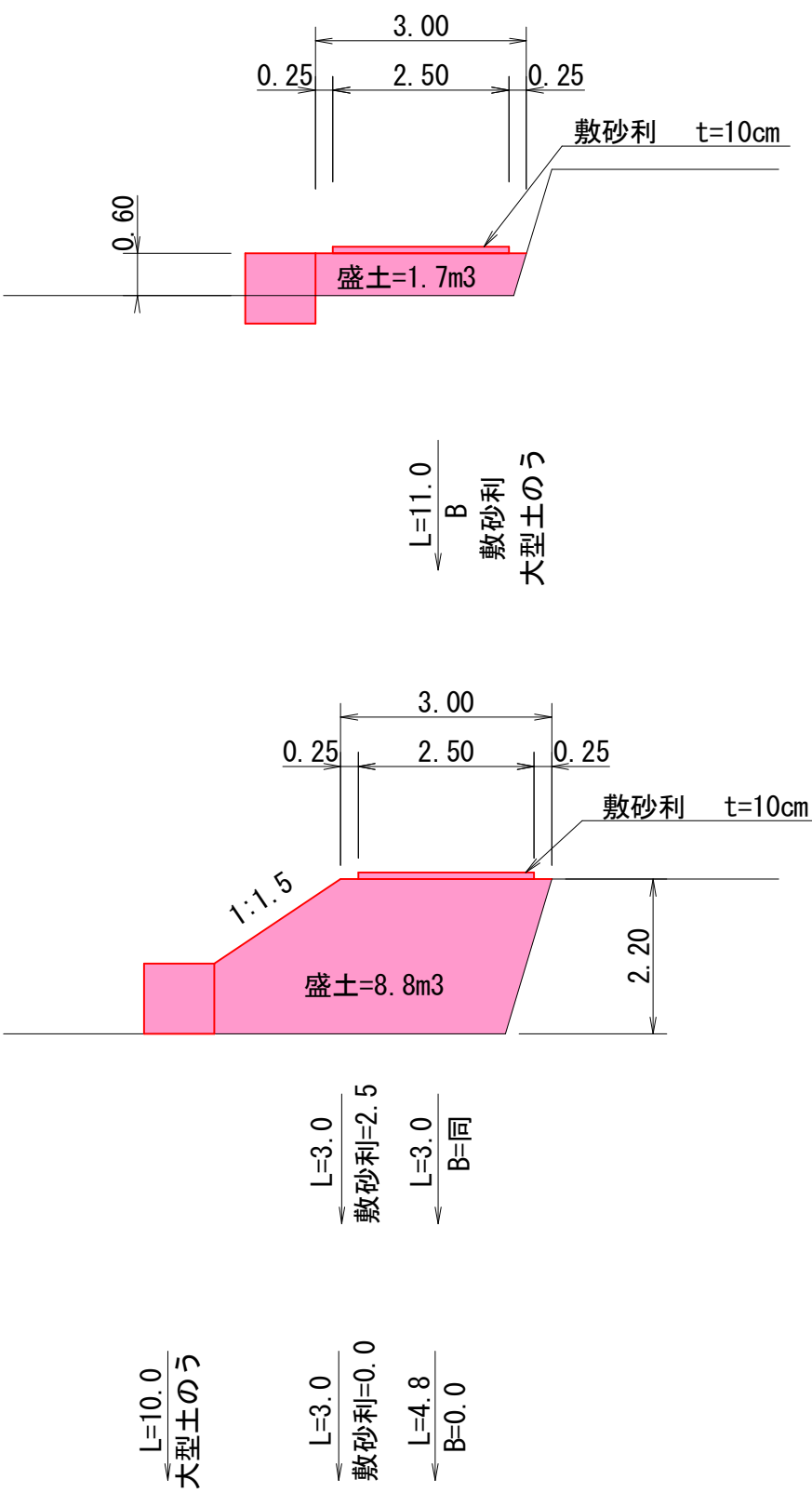


工事名	小坂頭首工改良工事(7-1)		
図面名	構造図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	3/4
会社名			
事務所名	福山市	沼隈建設産業課	

平面図 S=1:250



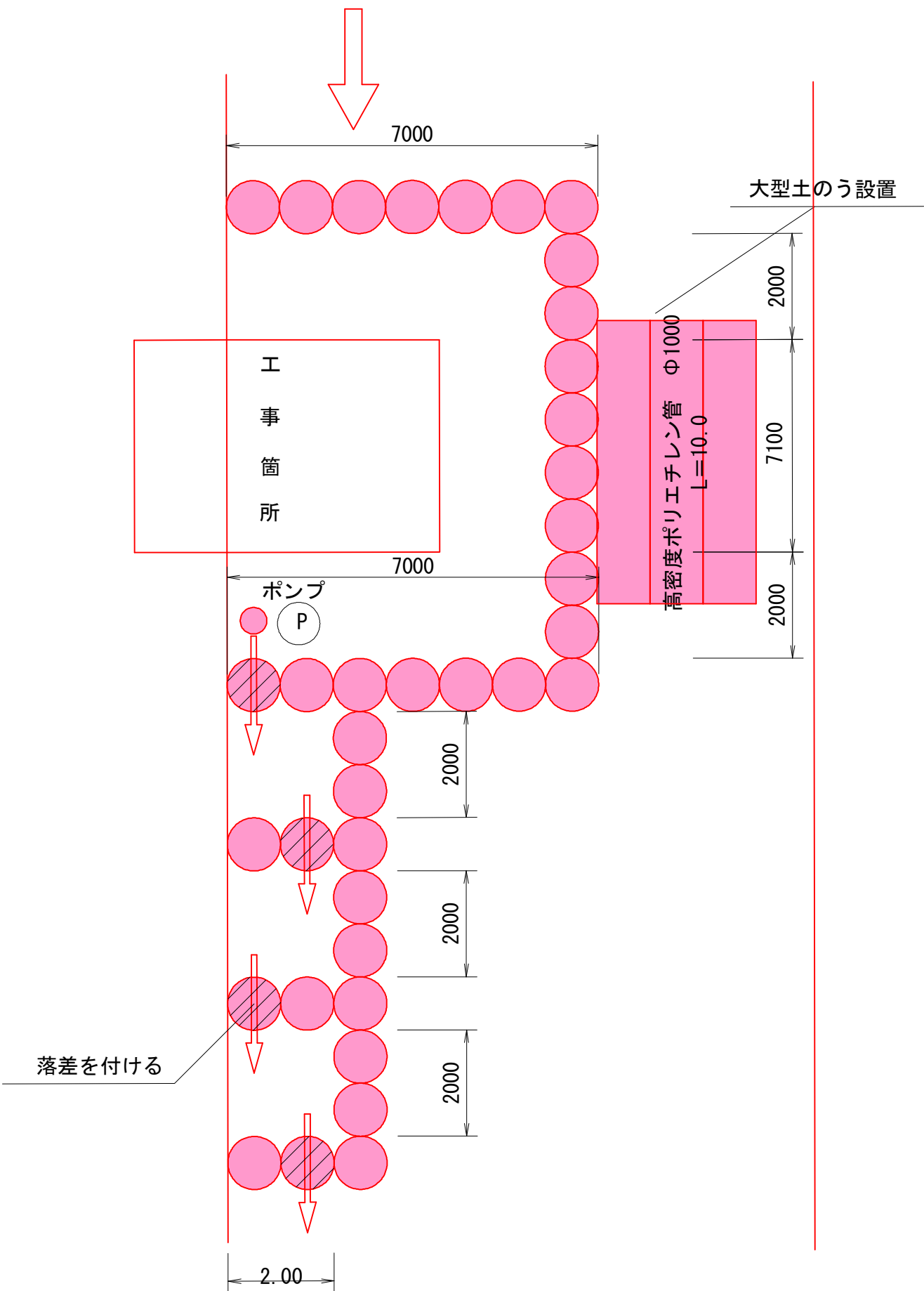
横断面図 S=1:100



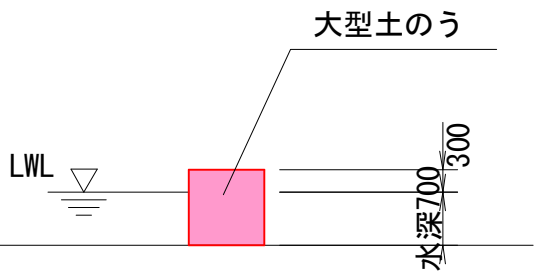
仮 締 切 工 ・ 沈砂池工 S=1:100

〔河床幅3.0m以上〕

平 面 図



断 面 図 S=1:100



仮締切袋数= (LWL+0.30m) × (7.0m+2.0m+工事延長+7.0m+2.0m) ÷ (1.08 × 1.10)

沈砂池袋数= (LWL+0.30m) × (2.0m × 3+3.0m × 3) ÷ (1.08 × 1.10)

工事名	小坂頭首工改良工事(7-1)		
図面名	仮設工		
年月日			
尺度	図 示	図面番号	4/4
会社名			
事務所名	福山市	沼隈建設産業課	

これ以降 参考図書

施工単価表

掘削
土砂 片切掘削
機械構成比: 10.05% 労務構成比: 84.73% 材料構成比: 5.22% 市場単価構成比: 0.00% 単第 0 -0001号表

標準単価: 1,249.0000
1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	10.05%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
普通作業員	74.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	10.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油	5.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=2 片切掘削		

施工単価表

頁0 -0012

法面整形
切土部 現場制約無し
機械構成比: 9.71% 労務構成比: 80.61% 材料構成比: 9.68% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040025
レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

単第 0 -0002号表
1
標準単価: 874.3200
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1〜3,2011,2014	9.71%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	38.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	19.83%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油	9.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0013

ダンプトラック運搬（標準以外）

4 t 積級ダンプ 運搬距離6 km

土砂 D I D区間なし

单第 0 -0003号表

10

m3

当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0014

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

単第 0 -0004号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	33.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.17	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.17	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=2 オンロード・ディーゼル・4 t 積級 C=33 軽油消費量 (L／日) E=1 路面状況：良好 G=0 労務単価の夜間等割増率			B=1 運転労務数量 (人／日) D=1.17 機械損料数量 (供用日／日) F=1		

施工単価表

頁0 -0015

舗装版切断

SPK24040306

単第 0 -0005号表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.2600

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0016

鋪裝版切断

SPK24040306

单第 0 -0005号表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.42% **勞務構成比:**

57.13% 材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 673.2600

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 13.49%

SPK24040305
障害等無し 舗装版厚15cm以下
労務構成比: 80.49%

材料構成比: 6.02%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0006号表

1
標準単価:

m2 当り
207.0600

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0018

構造物とりこわし工(無筋構造物)

单第 0 -0007号表

1 m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.95%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)
労務構成比: 38.97%

単第 0 -0008号表
材料構成比: 16.08%

標準単価: 1
m3 当り
4,707.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=57 運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

施工単価表

頁0 -0020

殻運搬

SPK24040151

単第 0 -0009号表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69%

労務構成比:

43.88%

材料構成比: 14.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,216.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

施工単価表

床掘り
土砂 平均施工幅1m以上2m未満
機械構成比: 20.36% 労務構成比: 65.67% 材料構成比: 13.97% 市場単価構成比: 0.00%
SPK24040015 土留方式無し 障害無し
単第 0 -0010号表
1 m3 当り
標準単価: 281.3900

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	20.36%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	65.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害無し		

施工単価表

埋戻土砂

SPK24040007

単第 0 -0011号表

平均施工幅1m以上2m未満

1

m3

当り

機械構成比: 28.47%

労務構成比: 58.52%

材料構成比: 13.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

295.9200

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	28.47%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
運転手(特殊)	58.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1土砂			B=3平均施工幅1m以上2m未満		

施 工 単 価 表

頁0 -0023

コンクリートブロック積工(練積)
粗面ブロック

18-8-40BB

単第 0 -0012号表

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	1.000	m2			
時間的制約なし					
コンクリート積みブロック-粗面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.168	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=1 - H=0.15 裏込コンクリートの厚さ(m)		
I=2 粗面ブロック L=1 時間的制約なし			K=8.5 ブロックm2当り使用量(個/m2)		

施工単価表

頁0 -0024

胴込・裏込材(碎石)

間知・平・連節・緑化ブロック

機械構成比: 9.68%

SPK24040045

RC-40

労務構成比: 66.52%

材料構成比: 23.80%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0013号表

1

標準単価:

m3

当り

6,906.5000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	9.68%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	34.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	19.63%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック			B=1 RC-40		

施工単価表

頁0 -0025

胴込・裏込材(碎石)
 間知・平・連節・緑化ブロック

SPK24040045

单第 0 -0013号表

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 9.68% 勞務構成比:

66.52%

材料構成比: 23.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

6,906.5000

[illegible]

コンクリートブロック基礎

施工単価表

单第 0 -0014号表

頁0 -0026

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

現場打基礎コンクリート

SPK24040049

単第 0 -0015号表

18-8-40BB

基礎砕石有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.24%

労務構成比:

68.05%

材料構成比:

29.71%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

76,045.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.66%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	18.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	17.71%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
特殊作業員	10.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	25.18%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0028

現場打基礎コンクリート

SPK24040049

单第 0 -0015号表

18-8-40BB

基礎碎石有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.24%

勞務構成比:

68.05%

材料構成比: 29.71%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

76,045.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

現場打小口止コンクリート

SPK24040050

単第 0 -0016号表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 1.98% 労務構成比: 68.57% 材料構成比: 29.45% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 67,388.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.98%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	22.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	21.22%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	10.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	28.42%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

頁0 -0030

現場打小口止コンクリート

SPK24040050

单第 0 -0016号表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 1.98% 勞務構成比:

1.98%

勞務構成比:

68.57%

材料構成比: 29.45%

29.45%

市場単価構成比: 0.00%

0.00%

標準単価：

67,388.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

コンクリートブロック積工(練積)

粗面ブロック

18-8-40BB

单第 0 -0017号表

1

m2 当り

m2 当り

[illegible]

購入土

单第 0 -0018号表

頁0 -0032

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

土砂等運搬
標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 45.59% 労務構成比: 39.52% 材料構成比: 14.89% 市場単価構成比: 0.00%
SPK24040002 DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)

単第 0 -0019号表
標準単価: 1,530.2000
1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=28 距離9.5km以下(7.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0034

路体(築堤)盛土・埋戻

SPKN2404004

単第 0 -0020号表

施工幅員4.0m以上

施工数量20,000m3未満 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 17.97%

労務構成比:

66.93%

材料構成比: 15.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

231.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	11.28%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.69%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	46.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 施工幅員4.0m以上 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		

施 工 単 価 表

頁0 -0035

砂利舗装工
敷均し幅2.5m以上

単第 0 -0021号表

100

m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.32	人			
普通作業員	0.62	人			
再生クラッシャラン 40～0mm	11.90	m3			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	2.50	時間			単第 0-0022号表
機-28_振動ローラ運転 (賃料) 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t	0.20	日			単第 0-0023号表
諸雑費	1	式			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=3 敷均し幅2.5m以上 C=1 敷均し E=3 再生クラッシャラン RC-40 G=2 舗設材単価0円区分：なし			B=3 バックホウ敷均し D=2 舗装面仕上げ有り：振動ローラ・コンバインド型 F=10 敷砂利仕上がり厚さ(cm) H=0 敷材単価(円)(G=2の時)		

施工単価表

頁0 -0036

機-1_バックホウ運転

クロール[標準]山積0.28m³ (平積0.2m³)

排出ガス対策型2次基準

单第 0 -0022号表

1

時間 当り

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0023号表

頁0 -0037

機-28_振動ローラ運転（賃料）

搭乗式コンバインド型 3.0~4.0t

1 日 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.278	人			1*0.278
特殊作業員	0.278	人			1*0.278
普通作業員	0.278	人			1*0.278
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 長期仮設対応(3年),令和5年改定基準適合品	10.000	枚			
購入土	10.000	m3			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.278	日			単第 0-0025号表
諸雑費	4	%			
合計	10	袋			
単位当り	1	袋			
A=5 耐候性(長期)大型土のう(R5改定基準適合品) D=1 【F】土砂(m3)			B=2 土砂の計上あり		

施工単価表

頁0 -0039

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付2.9t吊_山積0.8m3

单第 0 -0025号表

1 目 当り

[illegible]

防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去
コンクリート建込

頁0 -0040

1 m 当り

[illegible]

ポンプ運転

施工単価表

单第 0 -0027号表

頁0 -0041

1 目 当り

[illegible]

機-16_発動発電機運転
ガソリン2kVA

頁0 -0042

1 目 当 り

普通型

[illegible]

[illegible]

高密度ポリエチレン管機械布設
呼び径 1000mm

施 工 単 価 表

単第 0 -0030号表

頁0 -0044

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高密度ポリエチレン管	100.00	m			
土木一般世話役	1.48	人			
特殊作業員	3.69	人			
普通作業員	5.37	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	2.89	日			単第 0-0031号表
諸雑費	1	式			
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A=5 呼び径 1000mm			B=25110 高密度ポリエチレン管単価	(円/m)	

施工単価表

頁0 -0045

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付2.9t吊_山積0.45m3

单第 0 -0031号表

1 日 当り

[illegible]

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名		小坂頭首工			事業区分	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 別		規 格	単位	計算数量	工事区分	計上数量
河川土工						
	掘削工					
	掘削	片切掘削	m3	14.0	14	
	法面整形工					
	法面整形(ブロック積)	土砂	m2	32.0	32	
	残土工					
	土砂等運搬	土砂	m3	33.2	33	本工事
	残土等処分		m3	33.2	33	本工事
護岸基礎工						
	作業土工					
	床掘り	平均施工幅1m以上2m未満	m3	47.2	47	
	埋戻し	平均施工幅1m以上2m未満	m3	28.0	28	
法覆護岸工						
	コンクリートブロック工					
	基礎工	控長350, 1 : 0.5 t = 0.15	m	6.5	7	
		コンクリート	m3	0.9	1	0.136 × 6.5
	コンクリートブロック積	控長350, 1 : 0.5 t = 0.15	m2	28.0	28	
	裏込材(砕石)	RC-40	m3	17.6	18	
	小口止コンクリート	小型構造物	箇所	2.0	2	
		コンクリート	m3	3.6	3.6	
		型枠	m2	15.6	16	
雑工						
	すりつけ工(ブロック積)					
	ブロック積み	控長350, 1 : 0.5	m2	15.1	15	
構造物撤去工						
	構造物取壊し					
	舗装版切断	As舗装 t = 50	m	9.8	9.8	
	舗装版破碎	As舗装 t = 50	m2	9.6	9.6	
	コンクリート取壊		m3	30.7	31	16.9 + 39.5 × 0.35

工事数量総括表

[illegible]

土量配分表

			0.0	0.0	0.0 機 械 盛 土
					0.0 盛 土 合 計
掘 削 (土 砂)	14.0	土砂	$14.0 - 0.0 = 14.0$		33.2 残土(本工事)(土砂)
床掘(土砂)	47.2	土砂	$47.2 - 28.0 = 19.2$		
		土砂	$28.0 \times 1.0 = 28.0$		28.0 埋戻(転圧無)(土砂)
工事用道路(盛土)					
工事用道路(碎石)					
仮締切(地山土)					
沈砂池(地山土)					
大型土のう(工事用道路)					残土(仮設工)(土砂)
応急本工事盛土	締固め土量 0.0	$\div 0.9$	地山土量 0.0	$\times 1.2$	0.0 購入土(ほぐし)合計
応急仮工事大型土のう	ほぐし	$\div 1.2$	地山土量 0.0		

計第 1 表 土 工														
測点	距離	掘削（土砂）			測点	距離	ブロック積法面整形（土砂）			測点	距離			
		C (SE)	平均	立積			L (SE)	平均	平積				平均	積
		0.0												
	2.7	1.4	0.70	1.9										
A	0.5	1.4	1.40	0.7	A		4.5							
B	7.1	1.2	1.30	9.2	B	7.1	4.5	4.50	32.0					
	0.5	1.2	1.20	0.6										
	2.7	0.0	0.60	1.6										
計		14.0			計		32.0			計				
測点	距離				測点	距離				測点	距離			
			平均	立積				平均	平積				平均	積
計					計					計				

計第 7 表					仮設工 (1)									
測点	距離	沈砂池 (大型土のう)			測点	距離	仮締切 (大型土のう)			測点	距離	ポンプ排水		
			平均	積				平均	積				平均	積
沈砂池 (大型土のう) (仮復旧土のう用)					仮締切 (大型土のう) (仮復旧土のう用)					ポンプ排水				
	n=	(0.70+0.30) × (2.0×3+3.0 × 3) ÷ (1.08×1.10)=				n=	(0.70+0.30) × (7.0+2.0+7.1+2.0+7.0) ÷ (1.08×1.10)=				n=	1.0		
	n=	12.6	袋		合計	n=	21.1	袋		合計	n=	1.0	箇所	
	=	13.0	袋			=	22.0	袋						
購入土量V= 13×1.0m3/袋					購入土量V= 22×1.0m3/袋									
	=	13.0	m3 (ほぐし量)			=	22.0	m3 (ほぐし量)						
	残土量V=	13÷1.2				残土量V=	22÷1.2							
	=	10.8	m3 (地山量)			=	18.3	m3 (地山量)						
計					計					計				
測点	距離	架樋工			測点	距離				測点	距離			
								平均	積				平均	積
高密度ポリエチレン管 Φ1000														
	L=	10.0×3	=	30.0										
計					計					計				

計第 8 表

仮設工 (2)

測点	距離	工事用道路			測点	距離	工事用道路			測点	距離	工事用道路		
		盛土	平均	立積				平均	積			敷砂利	平均	平積
					工事用道路（盛土タイプ）									
		1.7				L=			11.0					
	11.0	8.8	5.25	57.8					3.0			2.5		
	3.0	8.8	8.80	26.4					3.0		11.0	2.5	27.5	
	4.8	0.0	4.40	21.1	合計	L=	17.0	m			3.0	2.5	7.5	
											3.0	0.0	3.8	
						盛土V=								
						=	105.3	m3						
						購入土V=	105.3÷0.9							
						=	117.0	m3（地山量）						
						敷砂利V=	38.8×0.10							
						=	3.9	m3						
計		105.3			計					計		38.8		
測点	距離	大型土のう			測点	距離	ガードレール撤去			測点	距離			
			平均					平均	延長				平均	積
大型土のう設置		11.0+10.0							3.2					
	n=	21.0	袋											
					工事用道路				6.0					
購入土量V=		21×1.0m3/袋												
	=	21.0	m3（ほぐし量）											
	残土量V=	21÷1.2												
	=	17.5	m3（地山量）											
計					計		9.2			計				

